

ふるさとおもしろ統計学

失業率4%時代に突入

戦後最悪のマイナス成長！

戦後日本の経済が未曾有の経済成長を遂げたことは、皆さん周知の事実です。本県においても後進県からの脱却をスローガンにつくば研究学園都市や鹿島コンビナートの開発などにより、大いなる発展を遂げました。しかしながら、1980年代後半のバブル経済の反動で、1992年以降、景気も長い低迷を続けております。先月の政府の発表によると97年度の経済成長率はマイナス0.7%と戦後最悪のマイナス成長となりました。

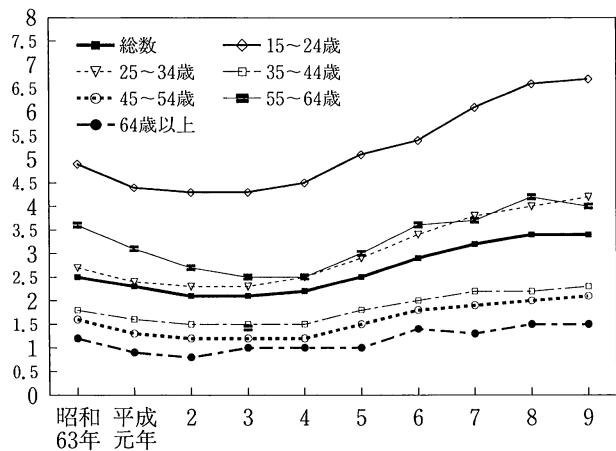
経済状況をあらわす重要な指標として失業率がありますが、失業率は物価指数と並んでマクロ経済政策を実施する上での重要な指標となっております。

労働力調査によると、東京オリンピックのあった1964年前後から始まる高度成長期には、失業率は1%前半で推移し、日本の労働市場は極めて安定していました。その後、バブル期に一時下落したものの、73年の第1次オイルショックを境に失業率は上昇を続け、77年には2%，95年には3.2%，本年4月には遂に4%を超えるに至りました。

ところで、イギリスの経済学者ケインズは失業を自発的失業、非自発的失業、摩擦的失業に分けて労働市場を分析しましたが、現在の失業は不況による非自発的失業に加えて、若年層を中心とした労働者の離職志向の高まりによる自発的失業も増えており、複雑な様相を呈しております。グラフに見られるとおり、若年層の完全失業率は15～24歳が6.7%，25～34歳が4.2%となっており、失業者数のうち15～34歳の自発的な離職は56万人と高い水準にあります。これらのこととは、失業者を即時に減少にくくさせていると言えるでしょう。

しかしながら、我が国は2度にわたるオイルショックなど、幾度かの経済危機に見舞われたとき、そのつど予想をはるかに上回る適応力をを見せ、世界をあつといわせました。今回の不況がいつまで続くのかわかりませんが、かつてのようにこの平成不況を見事に克服し、再び世界をあつといわせたいものです。

年齢10歳階級別完全失業率の推移



	完 全 失 業 率 (%)						
	総数	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
昭和63年	2.5	4.9	2.7	1.8	1.6	3.6	1.2
平成元年	2.3	4.4	2.4	1.6	1.3	3.1	0.9
2	2.1	4.3	2.3	1.5	1.2	2.7	0.8
3	2.1	4.3	2.3	1.5	1.2	2.5	1.0
4	2.2	4.5	2.5	1.5	1.2	2.5	1.0
5	2.5	5.1	2.9	1.8	1.5	3.0	1.0
6	2.9	5.4	3.4	2.0	1.8	3.6	1.4
7	3.2	6.1	3.8	2.2	1.9	3.7	1.3
8	3.4	6.6	4.0	2.2	2.0	4.2	1.5
9	3.4	6.7	4.2	2.3	2.1	4.0	1.5

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

ふるさとおもしろ統計学

大型店ラッシュ

大型店の増加率は全国第1位

近年、本県の消費者ニーズも大分様変わりし、単に物を購入するという感覚から買い物を楽しむというアメニティが求められるようになってきました。

みなさんは、普段買い物をするときどこでしますか？近くのお店ですか、コンビニエンスストアですか、それとも。

商業事情も大分変化し、コンビニエンスストアや郊外型の量販店など新しい業態が次々に増えてきました。

平成6年商業統計調査によると、小売店全体の店舗数は減少しているものの、本県においては大型店の増加率が51.1%と全国でも群を抜いて増加しております。店舗数でも161店舗（315→476店舗）と千葉県に次いで第2位の増加数です。

これは、本県が可住地面積が広く人口が分散していることやマイカーの普及率が高いことなどから郊外の方に立地してもマーケットとしての魅力

が期待できるなどの要素があるのではないかと思われます。また、最近の大型店では、品揃えなどの量的な側面ばかりでなく、夜9時まで営業したり、元旦も営業する店も出現しており、わずか数年の間に質的な面でも変化しております。

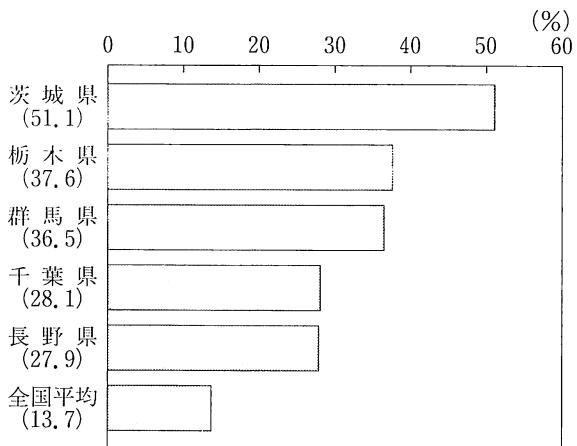
大型店の増加率が高いのは、本県のほか栃木、群馬、千葉など大都市近郊圏に多く見られます。

来るべき21世紀を迎える規制緩和がますます進んで行くことが予想される中で、本県の商業地図が今後どのように変化していくか、想像もつかないほどです。コンピュータの普及により、家庭にいながらショッピングができるようになるとおもわれております。

しかしながら、このように私たちの生活が便利になることは結構なことです、かつての商店街にみられたような活気とふれあいがなくなるのはちょっと寂しいような気もしますが…。

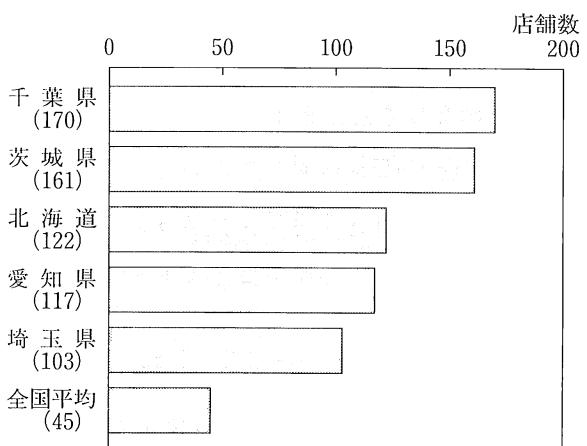
大規模小売店舗増加率

全国ベスト5（平成3年から平成6年まで）



大規模小売店舗増加数

全国ベスト5（平成3年から平成6年まで）



※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

調査員さんから学んだこと

瓜連町企画財政課 主事 水野泰男

私が統計事務担当者として従事し、早くも2年目に突入しました。

昨年度は本年度に比べ調査が多く、新任の私は大変な1年でした。

特に今年の2月、農業基本調査と住宅統計調査単位区設定の提出時期が重なったときは、頭が混乱し、課員の皆さんにご迷惑をかけてしまいました。（忙しい時期に申し訳ありませんでした。）

ようやく最近になって、調査の進め方なども少しづつ形になってきました（？）が、担当当初は、調査員さんのお陰で調査を進めることができたようなものでした。

例えば、昨年6月に実施された商業統計調査は、私には初めての調査だったので、町独自の基礎資料もほとんどない状態で調査に臨んでいただいたのですが、苦情も調査拒否も無くスムーズに調査を終えることができました。

前任者に「商業統計調査は、調査拒否が出やすいゾ」と聞いていたのでとても不安でしたが、結果的に無事終了し、今思えば、調査員さんの力というものを実感させられます。

当町の調査員さんは熱心な方が多く、調査期間中は平日・休日に関らず、わからないことがあれば、私の家まで聞きに来てくれます。（小さな町なので、どこからでも車で5分ぐらいで来れてしまう。）

迷惑話のように聞こえますが、心配性の私としては、わからないことをそのまま進められるより、聞きに来てくれる方が調査が的確に進められ、非

常にありがたいことだと思っています。

また、調査員のHさんは常々「私は、統計調査員に誇りを持っている」と言って、他の課に用事がある場合でも必ず私のところに寄ってください、以前の調査で大変だった話や、現在実施している調査のアドバイスなどをしてくれます。

Hさんは、登録調査員として約50年従事していますが、私には統計調査への情熱と思い入れがひしひしと伝わってきます。

このようなこともあります、私は当町の調査員さんを尊敬するとともに、統計調査に前向きで、かつ熱心に取り組む姿勢を見て、自分の仕事に対し見習うべきことが多く反省させられます。

私たち統計事務担当者は最終的に「調査が無事に終了すれば良い」と思っている部分が多くあると思います。（私だけかもしれません）

しかし、実際に調査を無事に終了させるには、調査対象の方々に統計調査の重要性を理解していただきため、調査員さんや私たち担当者の“誠意”を見せなければならないと思います。

そう思うと、仕事に取り組む姿勢というものは非常に大事なことです。

これからも統計調査を進めるうえで、苦労することはたくさんあると思いますが、調査員さんから学んだことを忘れずに頑張って行きたいと思います。

【新着資料案内】

【新着資料案内】

この資料は、平成10年7月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		新エネルギー導入ビジョン、茨城県 平成11年度国の予算編成に対する要望事項	企画調整課 〃
観光白書 平成10年版	総理府	茨城の交通ハンドブック	交通・産業立地課
家計調査年報 平成9年	総務省統計局	新規立地工場概要 平成9年12月31日現在	〃
小売物価統計調査年報 平成9年	〃	茨城県の人口 平成9年	統計課
人口推計 国勢調査結果による補間補正人口	〃	消費者物価指数、茨城県 平成9年	〃
人口推計年報 平成9年10月1日現在推計人口	〃	ふるさとおもしろ統計学	〃
科学技術白書 平成10年版	科学技術庁	地下水の採取の適性化について	水・土地対策課
環境白書 平成10年版 各論	環境庁	コンピュータのあゆみ №28	情報対策課
環境白書 平成10年版 総説	〃	交通事故相談の概要 平成9年度	生活文化課
土地白書 平成10年版	国土庁	市町村交通安全対策現況調 平成10年度	〃
防災白書 平成10年版	〃	いばらき環境学習プラン	環境政策課
外交白書 1998 第1部	外務省	地球環境保全行動条例、茨城県	環境保全課
外交白書 1998 第2部	〃	緑の県勢調査 第2回	〃
通信白書 平成10年版	郵政省	騒音・振動・悪臭規制等一覧	環境対策課
		地球環境保全行動レポート、茨城県	〃
茨城県関係		茨城県の一般廃棄物処理 平成8年度版	廃棄物対策課
ガイドブックいばらき	広報広聴課	茨城県の保健医療	医務課
決算状況調査表、茨城県 平成8年度	財政課	茨城県の老人保健事業 平成9年度版	健康増進課
市町村公営企業財政実態資料 平成9年度	地方課	茨城の中小企業 平成10年版	商工政策課
ふるさとづくり支援隊活動報告書 H9年度	〃		
行政改革大綱、茨城県 平成9年度実績	行政・分権推進室	会社、公社、団体等	
産業構造と県民所得に関する研究報告書	企画調整課	'98 民力	朝日新聞社

編集後記

7月28日に大宮町で、統計調査員総合研修会が行われました。参加者は900名を超え、会場は大変な熱気でした。日頃、机に向かう仕事が多く、調査員の方と接する機会がほとんどない私には、貴重な経験となりました。

統計いばらき

1998.8 No.532

平成10年8月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

(KM)

印刷所／富士オフセット印刷株式会社